取組事例　平取町での新規就農～トマト栽培で農家に～
新規就農者をサポートする体制の構築で雇用の拡大と人口流入へ　（平取町）

平取町では、特産品であるトマトの栽培を中心に、新規就農者数の向上を図ることで町外からの人口流入を促進し、誰でもチャレンジできる地域づくりを目指している。

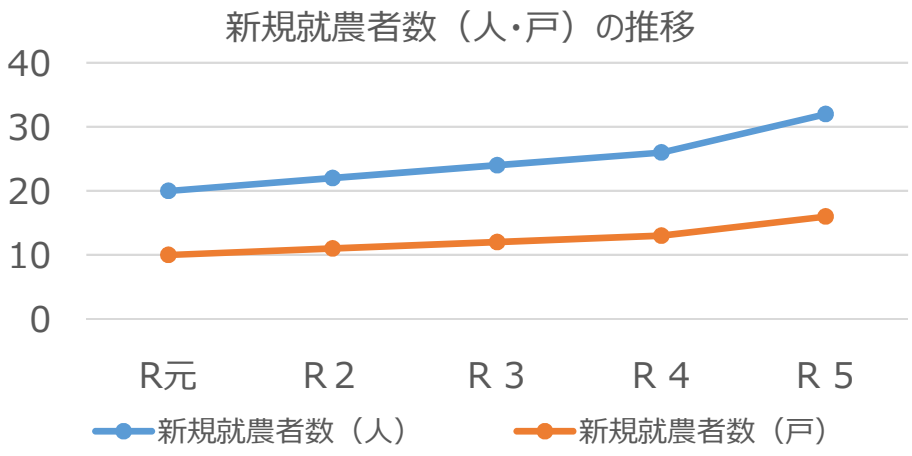
関連数値目標・ＫＰＩ

	基準値（R元）	実績（R5）	目標値（R6）	進捗率（%）
新規就農者数（人）	20人	32人	44人	72.7%
新規就農者数（戸）	10戸	16戸	22戸	72.7%

取組の推進体制

町、農業支援センター、びらとり農業協同組合、新規就農者や地域の農業者から構成される就農支援組織が適切な役割分担の下、官民の連携により取組を効果的に推進。

新規就農者数の状況



新規就農者数（人・戸）がコンスタントに増加傾向にある

取組事例　トマト栽培で農家に挑戦

充実した支援システムや専門スタッフがサポート！

○主な取組

・販路の確保のため、JAに全量出荷。
・栽培マニュアル、育苗施設や土壌診断施設の拡充。
・１年間の農家研修を研修生用農場で実施し、栽培に関する一連の作業を経験。
・町から就農時に５００万円の補助金を助成。

○手厚いサポート体制

・平取町農業支援センターを設置し、専門スタッフによるサポートを受けることができる。
・地域の農業者や先輩の新規就農者で結成される就農支援組織があり、相談することができる。

○主な成果

・平成16年度以降、令和５年度までに16戸が新規就農しており、この間の離農者は３戸にとどまっている。
・新規就農者の受入を開始した平成10年以降の累計（33戸）でみると、トマト生産者全150戸の２割以上を占めており、安定した受入ができている。